2026年　第46週11月9日 ～11月15日

# 西多摩保健所感染症週報

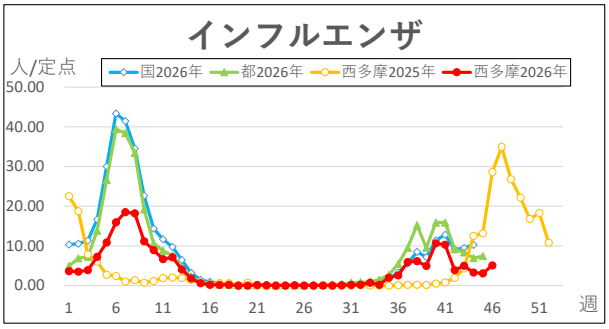
東京都西多摩保健所
Tel 0428-22-6141

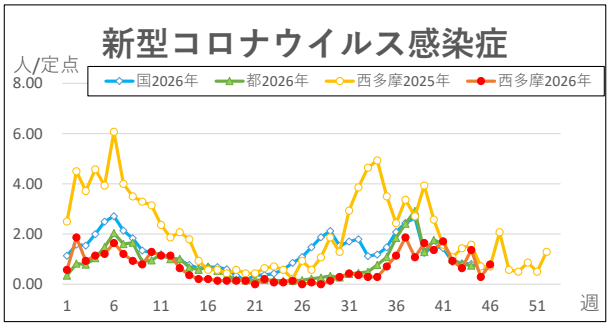
**＊管内の発生動向及び定点把握対象疾患＊**　（　）は内訳又は前週値

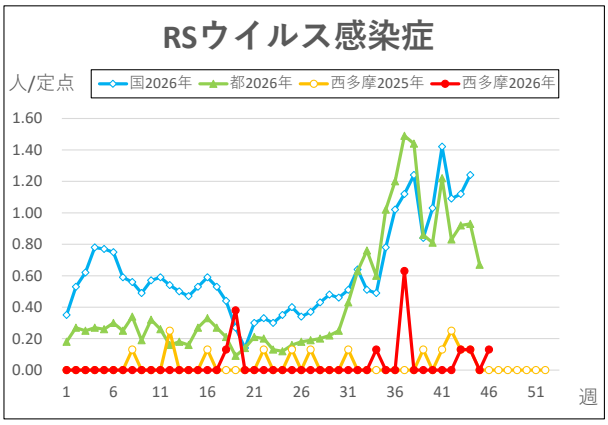
・全数届出の疾患は、結核１件（30代女性）、侵襲性肺炎球菌感染症１件（50代男性）、百日咳１件（10歳未満男児）の報告がありました。
・定点報告では、インフルエンザ5.07（3.07）、新型コロナウイルス感染症0.79（0.29）、RSウイルス感染症0.13（0.00）、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎0.38（0.25）、手足口病0.13（0.00）、流行性耳下腺炎0.25（0.00）、急性呼吸器感染症（ARI）30.36（26.86）が増加しています。

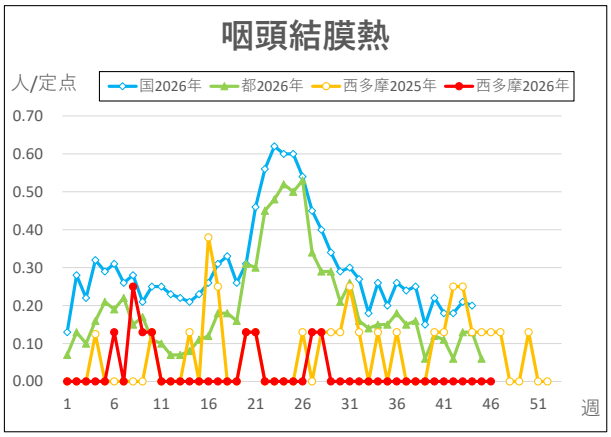
**＊管内の感染症集団発生状況＊**　（　）は内訳

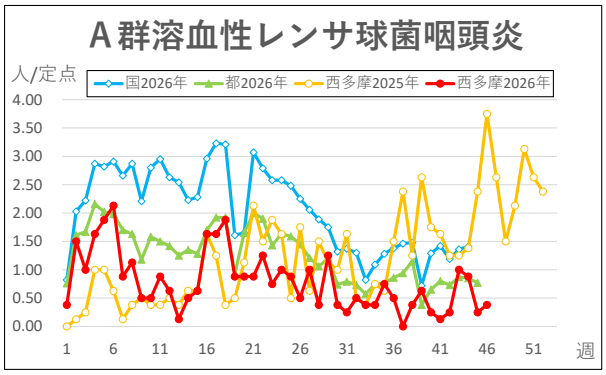
・インフルエンザ１件（医療機関）、新型コロナウイルス感染症１件（高齢者施設）、疥癬１件（高齢者施設）の報告がありました。
・インフルエンザやコロナウイルスが流行しています。こまめに手洗いや咳エチケット等の感染予防に努めていきましょう。

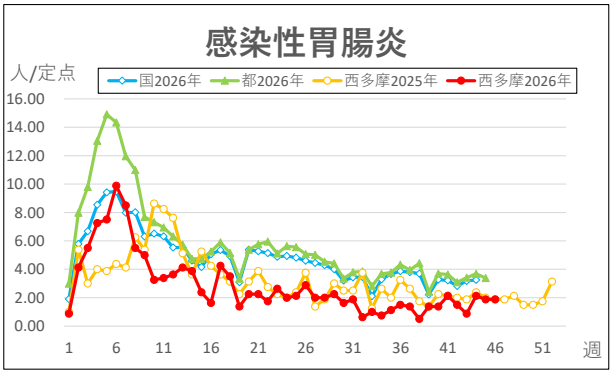


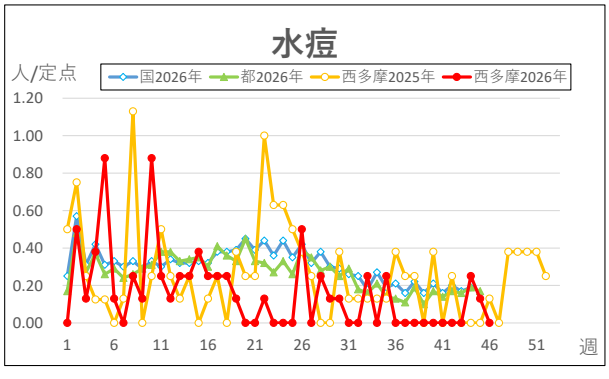



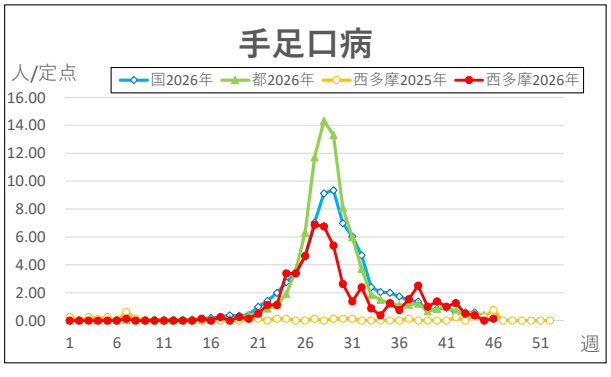



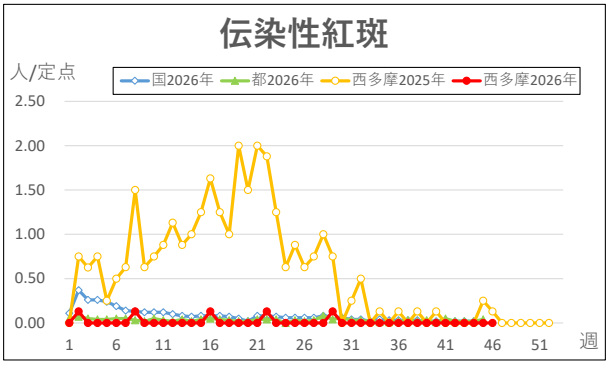



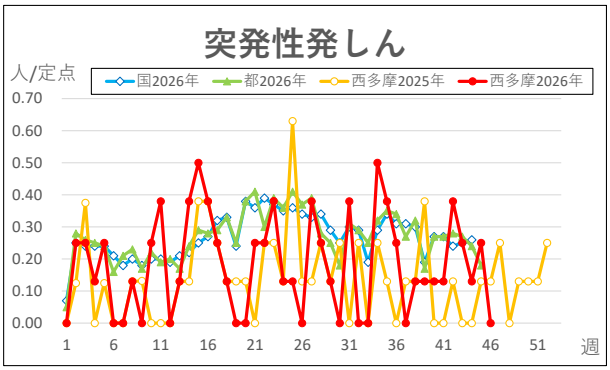



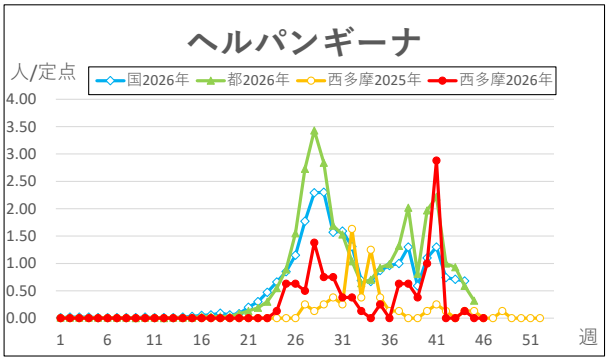
## 伝染性紅斑



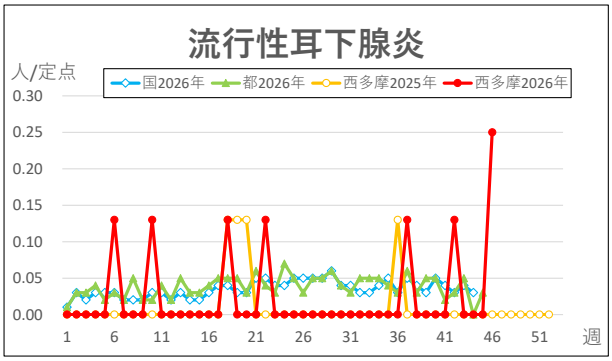

## 突発性発しん



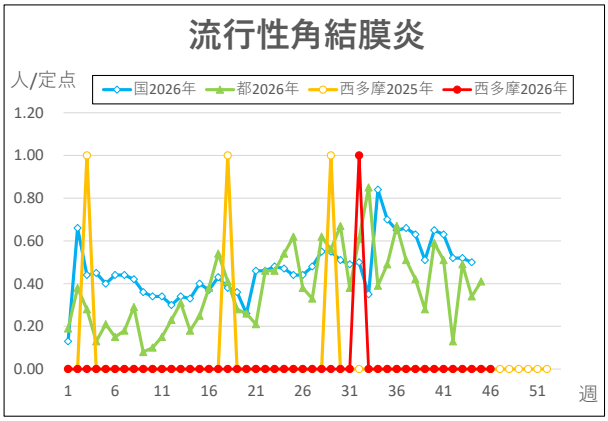

## ヘルパンギーナ



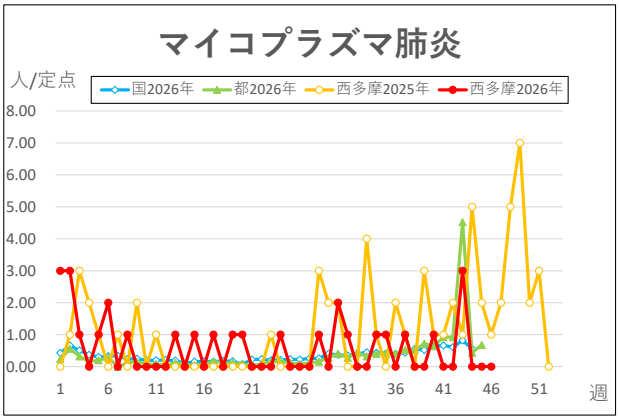

## 流行性耳下腺炎



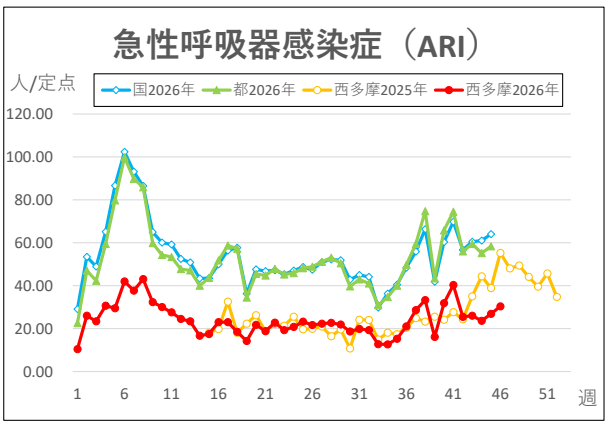

## 流行性角結膜炎




## マイコプラズマ肺炎




## 急性呼吸器感染症（ARI）



＊今週のトピックス＊

## ～ 世界薬剤耐性（AMR）啓発週間 ～

WHOは薬剤耐性の問題を広く普及するため、11月18日～24日を「世界薬剤耐性（AMR）啓発週間」と定めています。東京都でも普及啓発の取組を行っています。

抗菌薬とは？

抗菌薬（抗生物質）とは、細菌が原因の感染症を治療するための薬です。抗菌薬は細菌の構造や増えていく仕組みのどこかを邪魔して効果を発揮します。細菌の仕組みを利用した薬のため、細菌以外の病原体（ウイルスや真菌など）が原因となる感染症（風邪など）には効果がありません。

薬剤耐性菌とは？

抗菌薬が効かなくなる細菌のことを、薬剤耐性菌と呼びます。薬剤耐性菌は抗菌薬の耐性を獲得し、治療が困難になります。要因として、不十分な量・期間の抗菌薬使用により耐性菌を増殖させてしまうことがあります。細菌は様々な方法を駆使して抗菌薬のばく露から生き延びようと試みます。細菌が本来持つ耐性のほか、遺伝子を拾い他の菌から譲り受けながら高度な耐性を獲得し、そこに抗菌薬による選択圧（抗菌薬投与により抗菌薬の効く菌が減少し、耐性菌が増殖しやすくなる状態）が加わることで増殖します。薬剤耐性菌はヒトからヒトへ、ヒトから環境へと広がります。

薬剤耐性（AMR）を防ごう！

・抗菌薬はウイルスには効果がありません。
　風邪の80～90%はウイルスが原因とされており、抗菌薬を使っても治りません。抗菌薬を服用する際には、正しい診断と医師の判断が重要です。
・薬（抗菌薬）は正しく飲みましょう
　医師の指示された飲み方（1回量・回数・時間）を守り、処方された量を飲み切りましょう。自己判断で途中で飲むのをやめてはいけません。
　家族や友人にあげたり、もらって飲んだりしてはいけません。
・感染症を予防しましょう
　薬剤耐性菌の増加を防ぐには、抗菌薬を使用する機会を減らすこと、すなわち感染症にかからないことが重要です。引き続き、手洗いや手指消毒、場面に応じたマスクの着用など基本的な対策を行い、感染症を予防しましょう。以下のサイトに薬剤耐性について学ぶことのできる動画・リーフレット・ポスターが記載されております。是非ご覧ください。




東京都薬剤耐性（AMR）ポータル　https://amr.metro.tokyo.lg.jp/

直近8週間の西多摩保健所管内定点医療機関報告数（定点当たり）

| | 39週 | 40週 | 41週 | 42週 | 43週 | 44週 | 45週 | 46週 | 1週目からの累計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| インフルエンザ | 69<br>（4.93） | 149<br>（10.64） | 144<br>（10.29） | 54<br>（3.86） | 70<br>（5.00） | 46<br>（3.29） | 43<br>（3.07） | 71<br>（5.07） | 2,618 |
| 新型コロナウイルス感染症 | 23<br>（1.64） | 19<br>（1.36） | 24<br>（1.71） | 13<br>（0.93） | 9<br>（0.64） | 19<br>（1.36） | 4<br>（0.29） | 11<br>（0.79） | 444 |
| RSウイルス感染症 | 0<br>（0.00） | 0<br>（0.00） | 0<br>（0.00） | 0<br>（0.00） | 1<br>（0.13） | 1<br>（0.13） | 0<br>（0.00） | 1<br>（0.13） | 13 |
| 咽頭結膜熱 | 0<br>（0.00） | 0<br>（0.00） | 0<br>（0.00） | 0<br>（0.00） | 0<br>（0.00） | 0<br>（0.00） | 0<br>（0.00） | 0<br>（0.00） | 10 |
| A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 | 5<br>（0.63） | 2<br>（0.25） | 1<br>（0.13） | 2<br>（0.25） | 8<br>（1.00） | 7<br>（0.88） | 2<br>（0.25） | 3<br>（0.38） | 290 |
| 感染性胃腸炎 | 11<br>（1.38） | 11<br>（1.38） | 17<br>（2.13） | 12<br>（1.50） | 7<br>（0.88） | 17<br>（2.13） | 15<br>（1.88） | 15<br>（1.88） | 1,049 |
| 水痘（みずぼうそう） | 0<br>（0.00） | 0<br>（0.00） | 0<br>（0.00） | 0<br>（0.00） | 0<br>（0.00） | 2<br>（0.25） | 1<br>（0.13） | 0<br>（0.00） | 59 |
| 手足口病 | 8<br>（1.00） | 11<br>（1.38） | 8<br>（1.00） | 10<br>（1.25） | 4<br>（0.50） | 3<br>（0.38） | 0<br>（0.00） | 1<br>（0.13） | 427 |
| 伝染性紅斑 | 0<br>（0.00） | 0<br>（0.00） | 0<br>（0.00） | 0<br>（0.00） | 0<br>（0.00） | 0<br>（0.00） | 0<br>（0.00） | 0<br>（0.00） | 5 |
| 突発性発しん | 1<br>（0.13） | 1<br>（0.13） | 1<br>（0.13） | 3<br>（0.38） | 2<br>（0.25） | 1<br>（0.13） | 2<br>（0.25） | 0<br>（0.00） | 66 |
| ヘルパンギーナ | 3<br>（0.38） | 8<br>（1.00） | 23<br>（2.88） | 0<br>（0.00） | 0<br>（0.00） | 1<br>（0.13） | 0<br>（0.00） | 0<br>（0.00） | 92 |
| 流行性耳下腺炎（おたふくかぜ） | 0<br>（0.00） | 0<br>（0.00） | 0<br>（0.00） | 1<br>（0.13） | 0<br>（0.00） | 0<br>（0.00） | 0<br>（0.00） | 2<br>（0.25） | 8 |
| 流行性角結膜炎 | 0<br>（0.00） | 0<br>（0.00） | 0<br>（0.00） | 0<br>（0.00） | 0<br>（0.00） | 0<br>（0.00） | 0<br>（0.00） | 0<br>（0.00） | 1 |
| マイコプラズマ肺炎 | 0<br>（0.00） | 1<br>（1.00） | 0<br>（0.00） | 0<br>（0.00） | 3<br>（3.00） | 0<br>（0.00） | 0<br>（0.00） | 0<br>（0.00） | 28 |
| 急性呼吸器感染症（ARI） | 226<br>（16.14） | 446<br>（31.86） | 564<br>（40.29） | 356<br>（25.43） | 351<br>（25.07） | 331<br>（23.64） | 376<br>（26.86） | 425<br>（30.36） | 15,450 |

〇グラフは、５類定点把握対象疾患についての推移を表しています。グラフ縦軸の目盛は定点あたりの患者報告数です。
〇管内定点医療機関数は、小児科定点８、内科定点６、眼科定点１、基幹定点１となっています。
〇毎週の患者報告数は、管内の定点医療機関から毎週月曜日に報告を受け、週報として木曜日に発行いたします。
〇データの出典元は、下記のとおりです。国及び都のデータは１週間遅れで掲載しております。
〈出典〉東京都、西多摩保健所のデータ：東京都感染症情報センター　https://idsc.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/
国のデータ：国立健康危機管理研究機構（JIHS） https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/index.html